

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム覚王山

目標達成計画

作成日: 令和 6 年 12 月 3 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	食事レクリエーションの定着化※イベントの開催が不安定であり、入居者様の「食」に対する楽しみが制限されている。	・毎月の食事イベントを通じて、「食」に対する意欲・満足度アップへと繋げられる ・イベントを通じて、役割の創出・生きがいを感じられる	1)年間計画表を作成し、月毎の担当者の割り振りを行う。 2)リーダー会議(毎月)や給食委員会(3か月おき)を通じて、イベントの開催状況の報告・振り返りを行う。	6か月
2	40	コロナ以前と比べても、外出・地域との関わりの機会は増加しているが、頻度的にも少ない。	・地域との交流を通じて、楽しみ・笑顔が増える	1)運営推進会議を通じて、地域で開催されている行事についての情報を収集・参加へと繋げていく。 2)季節毎の行事について、各フロアで企画・開催する。	6か月
3	47	服薬事故(誤薬)が続いており、現状ルールの見直し・再周知を行い再発防止に努めている。	・服薬事故を0件とする	1)毎月の事故防止検討会議を通じて、各フロアの服薬介助の状況(ルールの周知が行えているか等)について確認すると共に、必要時ルールの見直しを行う。 2)お薬に関するアクシデント・インシデントについて、全体会議内にて共有し再発防止へと繋げていく。	3か月
4					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。